

事務事業コード	743114	事務事業名	小田西水道管理組合運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	管理グループ
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	3	安全で良質な水の安定供給		内線番号	2411
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 16 年度~)
	項	1	農業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	農地費	根拠法令・条例等	なし
コード	743114				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
上水道の無い現況の中で、安定的な生活飲用水を供給するために、小田西水道管理組合が管理している水道施設の維持管理に係る経費の補助を行っている。 補助金交付額:100,000円 給水戸数:24戸 配水管延長:2,025メートル								
補助金・負担金の交付先		小田西水道管理組合	補助金の対象経費		組合の運営及び活動に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	修理の件数	件		3	3	3	3	
イ	施設点検の回数	回		365	365	366	365	
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	小田西水道管理組合	小田西水道管理組合員	世帯		24	24	24	24
イ	維持管理に関する経費	管理経費	円		539,372	520,087	500,000	500,000
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	安定的な生活飲用水が供給される	安定的に供給されなかったと感じた人の数(苦情件数/供給世帯)	%		0	0	0	0
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	安全で良質な水を安定して供給できる	断水件数	件		53	42	40	
イ								

(2) 事業費		単位: 千円	
		23年度(決算)	24年度(予算)
予算額	当初予算額	100	92
	補正予算額	0	
	予算合計	100	92
決算額	国庫補助金		
	県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	100	
	支出合計	100	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
昭和60年4月から供用開始されたが、近年、施設の老朽化が進み、さらには組合員の高齢化に伴い維持管理が組合員だけでは困難なため、平成16年度から補助金を交付して施設の維持管理と組合員の労力の軽減を図るために開始された。	以前にも増し、施設の老朽化が進み施設の維持管理に伴う大規模な修繕については、行政で行っており、現在のところ安定的に飲用水の供給ができています。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
組合員より、水道課による上水道工事を実施しているが早急に完成してほしいとの要望が寄せられている。	平成14年9月の旧隼人町議会において、上水道に切替えるべきとの提案がなされ、ガーデンシティ計画の中で上水道が整備される計画であったが、この計画が中止になり現在に至っている。

事務事業コード	743114	事務事業名	小田西水道管理組合運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	小田西水道管理組合									24人	補助金 100	自主財源 420	補助金 92	自主財源 408	補助金 92	自主財源 408
	対象地区							○		合計 520	自主財源率 81%	合計 500	自主財源率 82%	合計 500	自主財源率 82%	
2											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
3											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
4											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
5											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
6											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
7											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
8											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
9											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
10											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	自主財源率	合計	自主財源率	合計	自主財源率	
計										24人	補助金負担金合計 100	自主財源合計 420	補助金負担金合計 92	自主財源合計 408	補助金負担金合計 92	自主財源合計 408
											自主財源率 81%		自主財源率 82%		自主財源率 82%	

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名	負担金額	平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	100
補正予算	
合計	100

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	743114	事務事業名	小田西水道管理組合運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	安定的な飲料水を供給することは、安全で良質な水の供給に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	飲用水確保のために市が設置した施設を適切に管理するための経費に対し、一部補助を行うことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	小田西水道を利用している組合員で構成している団体であるため、対象については妥当である。また、施設の維持管理を行い、安定的な飲用水の供給が必要なことから意図も妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	現状では100%に近い対応ができていますが、上水道への移行により成果を向上させる余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	維持管理が難しくなり、飲用水の確保ができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 上水道事業
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	安定した飲用水の供給に必要な維持管理費であるが、組合員の水道使用料等収入予算にて調整いただくよう要望し、H24年度以降市補助金を削減する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金申請書、実績報告書等を受付・審査の上、補助金交付を行うための必要最低限の人件費である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	上水道のない地域住民で組織された団体へ補助を行うため、受益者は限定されているが、必要最低限の生活飲用水を確保するための事業であり適正である。しかしながら、上水道への移行を図る必要がある。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		現在、霧島市の上水道計画に基づいて一部工事実施中である。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 霧島市の上水道計画に基づいて平成22年度一部工事着手しているがその後の工事計画において一部用地交渉が難航している。平成24年度は工事完成に向けて推進していく。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 平成24年度の工事進捗状況次第では、平成25年度においても工事完成に向けて推進していく。

事務事業コード	743114	事務事業名	小田西水道管理組合運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

4. 2次評価

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
 - 一部記述不足のところがある
 - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
 - 一部に客観性を欠いたところがある
 - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

(3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	上水道給水事業の導入によって、安定供給が図られる。
C 効率性	上水道給水事業と統合することで、維持管理費が不必要となり、事業費の削減が図れる。
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

(5) 具体的な改善計画 * (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成25年度に取り組むべき具体的な内容 平成24年度中に、上水道給水事業に統合することから安定供給ができる。	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容
--	-------------------------

事務事業コード	743117	事務事業名	土地改良区運営支援事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	管理グループ
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援		電話番号	45-5111
				内線番号	2411
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年度~)
	項	1	農業費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	5	農地費		霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	743117				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
霧島市内の4土地改良区(十三塚原土地改良区974人・竹子土地改良区231人・宮内原土地改良区2012人・福山町土地改良区538人)に運営費補助として補助金を交付している。 十三塚原土地改良区5,465,000円、竹子土地改良区3,515,000円、宮内原土地改良区764,000円、福山町土地改良区2,375,000円(市の活動) 土地改良区に補助金を支出するための手続(交付申請書の受付、交付決定、実績報告書の受付、補助金交付)を行う。 (土地改良区の活動) 農業用施設の維持管理、賦課金の徴収 *土地改良区とは、土地改良法に基づき設置された団体で、土地改良区内に農地を保有する農家を組合員として構成されている。								
補助金・負担金の交付先		土地改良区	補助金の対象経費		土地改良区の運営及び活動に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	補助金交付団体数	団体		4	4	4	4	
イ								
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	土地改良区の組合員	組合員数	人	4,207	3,755	3,755	3,755	
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	組合員の賦課金が軽減される	歳入予算に対する賦課金の割合	%	28	36	38	38	
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	経営体質が強化される	認定農業者数	戸	326	325	330		
イ								

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
		23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	12,119	10,909	主に大規模な事業(圃場整備事業、かんがい事業)が導入され、維持管理の部門が必要となったため。土地改良区の整備に関しては、国・県・市及び受益者負担によって行われた。4改良区に関しては施設の規模が大きく、市保有の施設の維持管理も含めて改良区が行うため、補助金を交付することとなった。	事業の完成から年月が経ち、施設の老朽化並びに管理者の高齢化に伴い以前より管理に苦慮している。平成19年4月1日、県からの権限移譲により、土地改良区に対する指導権限が市に移譲された。
	補正予算額				
	予算合計	12,119	10,909		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債			受益者(区域内の農地所有者)からは、できるだけ改良区の賦課金を上げずに安定した用水が確保できるように要望されている。土地改良区からは、用水路には住宅からの排水が流込むために水質が悪化、有機農法を取り入れられない等、農作物の品質に影響があるとの意見もある。	特になし
	その他				
	一般財源	12,119			
支出合計	12,119				

事務事業コード	743117	事務事業名	土地改良区運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	十三塚原土地改良区									984人	補助金	5,465	補助金	4,919	補助金	4,919
				○						自主財源	89,743	自主財源	89,681	自主財源	89,681	
										合計	95,208	合計	94,600	合計	94,600	
2	竹子土地改良区									221人	補助金	3,515	補助金	3,164	補助金	3,164
				○						自主財源	24,188	自主財源	24,100	自主財源	24,100	
										合計	27,703	合計	27,264	合計	27,264	
3	宮内原土地改良区									2,014人	補助金	764	補助金	688	補助金	688
								○		自主財源	22,311	自主財源	22,300	自主財源	22,300	
										合計	23,075	合計	22,988	合計	22,988	
4	福山土地改良区									513人	補助金	2,375	補助金	2,138	補助金	2,138
								○		自主財源	3,846	自主財源	3,800	自主財源	3,800	
										合計	6,221	合計	5,938	合計	5,938	
5											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
6											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
7											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
8											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
9											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
10											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
計										3,732人	補助金負担金合計	12,119	補助金負担金合計	10,909	補助金負担金合計	10,909
											自主財源合計	140,088	自主財源合計	139,881	自主財源合計	139,881
											自主財源率	92%	自主財源率	93%	自主財源率	93%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名	負担金額	平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	12,119
補正予算	
合計	12,119

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	743117	事務事業名	土地改良区運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	土地改良区の円滑な運営と財政の健全化を図ることは、農業者の負担を緩和させることとなり、経営体質の強化に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	多くの農業用施設の維持管理や補修を行い、安定的に農業用水の供給を行っているとともに、地域の環境保全も担っている等、公共性の高い組織であるため、その運営に関して補助することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	全ての土地改良区組合員を対象としており対象は妥当であり、組合員の経営安定に寄与するため意図も妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	現状において、土地改良区の円滑な運営と財政の健全化が図られている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	組合員(農家)の負担が増える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 土地改良区に対する支援事業は、本事業のみである。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	高齢化により組合員が減少し、運営予算も厳しい状況ではあるが効率的な運営を指導していく中で、H24年度より市補助金の削減を行う。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金申請を受付審査の上、補助金交付を行うために必要な人件費である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	土地改良区に属していれば受益機会は公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	組合員の高齢化に伴い、厳しい運営状況を強いられているが効率的な運営を指導していく中で事業費削減の対応を検討していく。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度(今年度)の取り組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
土地改良区への運営支援の実施で各区域内農業用施設の維持管理等が適切に行なわれ、安定した農業経営が期待できる。	土地改良事業の円滑な運営と財産管理の健全化を図るため土地改良区を支援していく。

事務事業コード	743116	事務事業名	中山間ふるさと・水と土保全基金管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		グループ	管理グループ
施策名	1	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	2	生産基盤の整備		内線番号	2411
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 5 年度~)
	項	1	農業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	農地費	根拠法令・条例等	霧島市中山間ふるさと・水と土保全基金条例
	コード	743116			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
中山間地域で土地改良施設(農道及び用排水路等)の機能を適正に発揮していくための集落共同活動を支援するため、基金を設立。基金を運用して基金利益で清掃活動や環境保全の研修等の経費や基金運用に必要な経費に充てる。			なし			
			平成24年度計画			
			中山間地域土地改良施設の清掃活動・環境保全研修			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	活動回数	回	0	0	1	1
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	集落共同活動団体	団体数	未把握	未把握	未把握	未把握
イ	農地	農地面積	ha	8,400	8,400	8,400
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	農業用施設の能力が適正に発揮される	参加人員	人	0	0	30
イ	市民等の環境保全に対する意識を高める	対象農地面積	ha	0	0	5
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	効率的な生産を行なう基盤が整う	農業生産基盤の整備率	%	51.3	51.0	51.0
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
当初予算額	181	182
補正予算	38	
予算合計	219	182
決算額		
国庫補助金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	219	
一般財源	0	
支出合計	219	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
土地改良施設(農道及び用排水路)の機能を適正に発揮させるための集落共同活動を支援するため設置された。旧市町で設置時期が異なるが平成5、6年からである。	低金利状態が長く続いたため財源が確保できず、運用益があらなくなった。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特になし	特になし

事務事業コード	743116	事務事業名	中山間ふるさと・水と土保全基金管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金	219		219	182		182			
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	219		219	182		182			

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	219		219	182		182		
一般財源									
計	219		219	182		182			

補助率	国							
	県							
補助基本額								

平成23年度	当初予算	181千円		
	補正予算	38千円		
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	38
予算合計	219千円			

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
基金利息	
参加費等の事業実施のための収入説明	
第9回(3月) = 38千円	

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	細かな手入れにより農業用施設の機能が適正に発揮され、効果的な生産を行なうことができ生産基盤の機能確保の上で政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設の保全、耕作放棄の増加や農業従事者の高齢化により施設の維持管理が難しくなっており、市が支援することは妥当。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	中山間地域において耕作放棄地や高齢化が顕著であるため対象・意図については妥当。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	金利動向により運用益があがるので、現在においては成果向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	高齢化が益々進むと思われる、集落の維持管理が難しくなるため必要な事業。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在の基金運用益が少ないため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	活動支援のための最低限の経理的な事務だけしか行っていない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っている不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	現在は活動支援を行なえない状況にある。支援可能になった場合の該当地区の検討が必要となる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	金利動向によって運用益に変動があるので現状維持しながら活用策を見出していきたい。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
中山間地域では、過疎化・高齢化が進行し土地改良施設(農道及び用排水路等)の地域資源を共同活動の取り組みの中で管理せざるを得ないので必要に応じて集落活動経費を支援していく。	中山間地域の集落活動を継続的に支援していく。

事務事業コード	743212	事務事業名	農村振興総合整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	耕地グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2421
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 25 年度
	款	6	農林水産業費		
	項	1	農業費	根拠法令・条例等	なし
	目	6	農道及び用排水路整備事業費		
コード	743212				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
豊かな住みよい農業農村を目指すことを目的とした本事業を活用し、国庫補助及び県補助により市の財源負担の軽減を図りながら、地域住民からの要望を勘案し、効率的な生産基盤等の整備を行うために、平成17年度の事業採択により開始した。	農村環境基盤の整備を行う本事業の導入を他の地域住民からも強く要望されている。	

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 農業用施設	農業用施設の機能保全	効率的な生産を行う基盤が整う。
イ 市民	利用者の安全確保	市民の安全が図られる。

全体計画 (H17~H25)	平成22年度までの実施状況	平成23年度実績	平成24年度計画
農業用排水施設 10地区 農道整備 4地区 農業集落道 4地区 自然環境・生態系 4地区 営農飲雑用水 1地区 市町村創造型整備 1地区	農業用排水施設 8地区L=1712m 農道整備 3地区L=837m 農業集落道 2地区L=1376.6m 自然環境・生態系3地区L=1624.3m 測量設計委託 21地区 用地補償一式	農道整備 2地区 L=158m 自然環境・生態系 1地区 L=58m 用地補償一式	農業用排水施設 1地区 L=11m 農業集落道 1地区 L=50m 用地補償 一式
平成25年度計画	平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度以降計画
農業用排水施設3地区L=485m 農道整備 1地区L=269m 農業集落道 1地区L=630m 自然環境・生態系1地区L=250m 用地補償 一式			

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H17~H25)			
	単独	補助	合計
国		383,675	383,675
県		137,330	137,330
地方債		238,789	
辺地債			
過疎債			
合併特例債		238,789	238,789
その他			
一般財源		7,806	7,806
計		767,600	767,600

	H23年度 決算(A)	H24年度 計画(B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	40,000	24,000	▲16,000	40%減
補正予算額	-26,269		---	---
予算合計	13,731	24,000	10,269	75%増
国庫補助金	6,750	12,000	5,250	78%増
県支出金	2,430	4,320	1,890	78%増
地方債	4,300	7,200	2,900	67%増
その他				
一般財源	251	480	229	91%増
支出合計	13,731	24,000	10,269	75%増

単位:千円

事務事業コード	743212	事務事業名	農村振興総合整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区分	全体計画 (H 17 ~ H 25)			平成22年度までの 実施状況			平成23年度 (実績)			平成24年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	農業用排水施設 10地区 農道整備 4地区 農業集落道 4地区 自然環境・生態系 4地区 営農飲雑用水 1地区 市町村創造型整備 1地区			農業用排水施設 8地区L=1712m 農道整備 3地区L=837m 農業集落道 2地区L=1376.6m 自然環境・生態系3地区L=1624.3m 測量設計委託 21地区 用地補償一式			農道整備 2地区 L=158m 自然環境・生態系 1地区 L=58m 用地補償一式			農業用排水施設 1地区 L=11m 農業集落道 1地区 L=50m 用地補償 一式			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費		19,575	19,575		19,575	19,575							
消耗品費		19,575	19,575		19,575	19,575							
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料		74,854	74,854		74,854	74,854							
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費		607,164	607,164		334,393	334,393		11,409	11,409		20,000	20,000	
16 原材料費													
17 公有財産購入費		43,408	43,408		32,508	32,508		2,322	2,322		4,000	4,000	
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金		22,599	22,599		18,020	18,020							
23 償還金・利息・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計		767,600	767,600		479,350	479,350		13,731	13,731		24,000	24,000	
財源内訳	国	383,675	383,675		239,675	239,675		6,750	6,750		12,000	12,000	
	県	137,330	137,330		85,500	85,500		2,430	2,430		4,320	4,320	
	地方債	238,789	238,789		147,100	147,100		4,300	4,300		7,200	7,200	
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債	238,789	238,789		147,100	147,100		4,300	4,300		7,200	7,200	
	その他												
一般財源	7,806	7,806		7,075	7,075		251	251		480	480		
計		767,600	767,600		479,350	479,350		13,731	13,731		24,000	24,000	
補助率	国	—		—		—		—		—		—	
	県	—		—		—		—		—		—	
補助基本額	—		—		—		—		—		—		

平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	40,000
補正予算	(26,269)
合計	13,731

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	(3月)
第3回		第6回			(26,269)

単位:千円

事務事業 コード	743212	事務 事業名	農村振興総合整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区 分	平成25年度 (計画)			平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	農業用排水施設3地区L=485m 農道整備 1地区L=269m 農業集落道 1地区L=630m 自然環境・生態系1地区L=250m 用地補償 一式											
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料												
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費		85,721	85,721		155,641	155,641						
16 原材料費												
17 公有財産購入費		4,578	4,578									
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金		4,579	4,579									
23 償還金利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計		94,878	94,878		155,641	155,641						
財源内訳	国	47,430	47,430	77,820	77,820							
	県	17,070	17,070	28,010	28,010							
	地方債	30,378	30,378	49,811	49,811							
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債	30,378	30,378	49,811	49,811							
	その他											
	一般財源											
計		94,878	94,878		155,641	155,641						
補助率	国											
	県											
補助基本額												

事務事業コード	743212	事務事業名	農村振興総合整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設の機能保全が図られることで、効率的な生産基盤が整備される。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設の整備・維持管理は市が行うべき業務であるため、公共関与は妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている	当初計画に基づいて事業を行ってきたが、近年、国の内示額が減少し進捗率が遅延してきている。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	基盤整備が遅れることにより、営農意欲が損なわれ、農業生産が低下する。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	公共事業として適切であり、コスト削減も加味された事業であるため、削減余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	設計については一部委託を行っているが、事務手続き及び工事に伴う設計管理委託をすべて最小限の職員で行っているため、削減余地はない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	要望箇所及び施設の老朽化の著しい箇所等を地区ごとに抽出し、市全体の緊急順位を勘案したうえで、国への事業採択を要望しているため、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民からの事業に対する早期着工・早期完成の要望が多いが、一部の地権者からの理解が得られず、用地取得に難航している。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	743213	事務事業名	農道・用排水路整備事業	担当部	農林水産部	
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課	
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	耕地グループ	
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	54-5111	
				内線番号	2421	
予算科目	会計	一般会計				
	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	6 農道及び用排水路整備事業費
					コード	

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
農業用施設 市民	農業用施設の機能保全 利用者の安全確保	利 効率的な生産を行うための、基盤整備が図られる。

番号	路線名等	平成23年度		平成24年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	横川菅牟田地区1	新規	農道整備L=200m				
		横川	1,281				
2	横川菅牟田地区2	新規	農道整備L=204m				
		横川	1,421				
3	国分川内(見帰)地区	新規	水路改良L=35m				
		国分	1,186				
4	福山八谷地区	新規	農道整備L=280m				
		福山	2,919				
5	溝辺竹山地区	新規	農道整備L=60m				
		溝辺	1,701				
6	国分重久(止上)地区	新規	水路改良L=90.4m				
		国分	1,113				
7	国分福島地区			新規	農道整備L=45m		
				国分	2,300		
8	国分台明寺地区			新規	水路改良L=128m		
				国分	1,400		
9	隼人見次地区			新規	水路改良L=60mm		
				隼人	2,000		
10	溝辺木屋原地区			新規	農道整備L=140m		
				溝辺	2,300		

<地区別>

継続 = 0 新規 = 12 継続 = 0 新規 = 13

		H 23	H 24	<全体事業費>	平成23年度決算(A)	平成24年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分	7	5	事業費	94,504	92,398	▲ 2,106	
溝辺	1	1	事務費			0	
横川	2	3	合計	12路線 94,504	13路線 92,398	1路線 ▲ 2,106	
牧園		1	<財源内訳>				
霧島	1		国庫補助金			0	
隼人		2	県支出金	25,000		▲ 25,000	
福山	1	1	地方債			0	
合計	12	13	その他		15,401	15,401	
			一般財源	69,504	76,997	7,493	
			合計	94,504	92,398	▲ 2,106	

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 施設の利用者から、農業用施設の未整備箇所や老朽化による修繕要望が多く寄せられている。	② この事務事業に対する議会から出された意見
---	------------------------

番号	路線名等	平成23年度		平成24年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
11	横川上ノ地区			新規	水路改良L=245m		
				横川	2,300		
12	牧園今村原地区			新規	水路改良L=105m		
				牧園	2,775		
13	福山八谷地区			新規	農道整備L=250m		
				福山	1,925		
14	市内一円	新規	農道水路維持委託				
		国分	2,224				
15	市内一円	新規	分筆測量委託				
		国分	1,440				
16	市内一円	新規	用地測量及び設計委託				
		国分	5,061				
17	市内一円	新規	緊急雇用事業(法定外データ ベース化)				
		国分	24,570				
18	霧島地区	新規	農山漁村地域整備事業計画策定				
		霧島	4,200				
19	市内一円	新規	農業用施設修繕等				
		国分	47,388				
20	市内一円			新規	農道水路維持委託		
				国分	6,280		
21	隼人朝日地区			新規	ため池漏水箇所調査委託		
				隼人	1,695		
22	市内一円			新規	高速道・農道備投物防止・剥離 防止事業委託		
				国分	16,923		
23	横川中ノ井手原地区			新規	農地防災事業事業計画書作成		
				横川	4,000		
24	横川牧ノ原地区			新規	河川応急事業計画書作成		
				横川	2,000		
25	市内一円			新規	農業用施設修繕等		
				国分	46,500		
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							

事務事業 コード	743213	事務 事業名	農道・用排水路整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	修繕や改良を行うことで、農業用施設の機能が向上し、効率的な生産基盤が整備される。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設は市が保有する施設であり、農業を行うために必要な施設であることから、修繕・整備等を市で行わなければならない。
B 有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	農家や地元住民の負担が大きくなり、安定した営農が出来なくなる。
C 効率性評価	④ 事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	最小限の費用で最大限の成果をだしているため、削減余地はない。
	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	苦情処理や要望への対応、さらに事業の設計や事業費の積算等を最小限の人員で遂行しているため、削減余地はない。
D 公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内全域での要望箇所及び施設の老朽化等を勘案し、緊急順位を決めて事業を実施しているので、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路や用排水路等の緊急性や必要性のある農業用施設の整備を行い、機能向上が図られた。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	743125	事務事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		グループ	耕地グループ
施策名	1	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	7	観光農林漁業の推進		内線番号	2421
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 25 年度
	款	6	農林水産業費		
	項	1	農業費	根拠法令・条例等	なし
	目	5	農地費		
コード	743125				
関連計画	89				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
霧島の玄関口として、体験農園や観光農園を利用できる日常的な緑とのふれあい空間の整備の一環とし、平成12年度から緑地公園整備として県営中山間地域総合整備事業(KAM霧島南部地区)で計画し、事業の実施を行ってきた。緑地公園が完成することにより、スポーツ・レクリエーションを通し地域住民と都市との交流促進が図られることから、公園整備を行う。	野球・サッカー等の地域スポーツ協議会関係者から「チーム数が多い中で練習場が少ない」「霧島市圏で県大会レベル以上の大会を一箇所で開催できる様な運動公園を」との要望がある。また、地域住民の憩いの場として、早期完成が望まれている。	

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 市民	緑地公園として利用する	農林水産業を観光資源として利用する
イ		

全体計画 (H17~H25)	平成22年度までの実施状況	平成23年度実績	平成24年度計画
春山緑地公園整備 A=3.8ha	実施設計 A=3.8ha 造成敷地整備 園路広場整備(路床・縁石) 運動施設整備(バックネット) 建築・設備設計業務	グラウンド整備(約2/3) サブグラウンド用地買収	管理施設整備(フェンス等) グラウンド整備(1/3) 便益施設整備(トイレ等)
平成25年度計画	平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度以降計画
サブグラウンド整備 集塵施設整備			

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H17~H25)			
	単独	補助	合計
国			
県			
地方債	604,500		
辺地債			
過疎債			
合併特例債	604,500		604,500
その他			
一般財源	44,949		44,949
計	649,449		649,449

	H23年度 決算(A)	H24年度 計画(B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	105,876	218,925	113,049	107% 増
補正予算額	35,980		---	---
予算合計	141,856	218,925	77,069	54% 増
国庫補助金				
県支出金				
地方債	131,600	207,900	76,300	58% 増
その他				
一般財源	10,256	11,025	769	7% 増
支出合計	141,856	218,925	77,069	54% 増

単位:千円

事務事業コード	743125	事務事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区分	全体計画 (H17 ~ H25)			平成22年度までの 実施状況			平成23年度 (実績)			平成24年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	春山緑地公園整備 A=3.8ha			実施設計 A=3.8ha 造成敷地整備 園路広場整備(路床・縁石) 運動施設整備(バックネット) 建築・設備設計業務			グラウンド整備(約2/3) サブグラウンド用地買収			管理施設整備(フェンス等) グラウンド整備(1/3) 便益施設整備(トイレ等)			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費	300		300				300		300				
消耗品費	300		300				300		300				
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料	6,788		6,788	4,788		4,788				2,000		2,000	
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	618,485		618,485	113,880		113,880	122,680		122,680	216,925		216,925	
16 原材料費													
17 公有財産購入費	15,876		15,876				15,876		15,876				
18 備品購入費	8,000		8,000				3,000		3,000				
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金													
23 償還金・利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	649,449		649,449	118,668		118,668	141,856		141,856	218,925		218,925	
財源内訳	国												
	県												
	地方債	604,500		604,500	108,300		108,300	131,600		131,600	207,900		207,900
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債	604,500		604,500	108,300		108,300	131,600		131,600	207,900		207,900
	その他												
一般財源	44,949		44,949	10,368		10,368	10,256		10,256	11,025		11,025	
計	649,449		649,449	118,668		118,668	141,856		141,856	218,925		218,925	
補助率	国	—		—									
	県	—		—									
補助基本額		—		—									

平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	105,876	第1回 (12月)	35,980	第4回		第7回	
補正予算	35,980	第2回		第5回		第8回	
合計	141,856	第3回		第6回			

財務シート

<施設整備・設備整備・道路整備用>

単位:千円

事務事業コード	743125	事務事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区 分	平成25年度 (計画)			平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	サブグラウンド整備 集景施設整備											
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料												
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費	165,000		165,000									
16 原材料費												
17 公有財産購入費												
18 備品購入費	5,000		5,000									
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金												
23 償還金・利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計	170,000		170,000									
財源内訳	国											
	県											
	地方債	156,700		156,700								
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債	156,700		156,700								
	その他											
一般財源	13,300		13,300									
計	170,000		170,000									
補助率	国											
	県											
補助基本額												

事務事業コード	743125	事務事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公園整備を行う事により、都市との交流が促進され、観光農園の来客数も増えることから、農林漁業を観光資源として利用することに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業農村地域の活性化を図るため、都市との交流基盤施設である公園整備を市が行う必要がある。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	地元住民及び関係市民から、早期完成が望まれている。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	交流基盤整備である公園整備であることから、廃止すれば農業農村地域の活性化に影響がある。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	盛土材に他工事による発生土を利用するなど、最大限のコスト削減に取り組んでいることから、以降削減の余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員が行う設計積算業務等、最小限の人員で行っており、削減余地はない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	すべての市民が利用できることから、受益機会は均等であり、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民からの早期完成が望まれていることから、23年度一部供用を目指している。今後も予算額により内容変更等を伴うが、完成年度を目標に整備を進めていく。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	